

技術のおたずねにこたえて

〔おたずね〕

毎年、春から夏にかけて庭先に羽アリが大量に死んでいます。木造住宅なのでシロアリではないかと不安です。シロアリと普通のアリとの見分け方や駆除の方法を教えてください。（A市 Y生）

〔おこたえ〕

シロアリは等翅目^{とうしもく}に属する原始的な昆虫で膜翅目^{まくし}に属するアリ類とは関係が遠く、むしろゴキブリ類などと近い関係にあるのですが、その大きさや同じような社会的生活を営むことからシロアリと普通のアリとの区別がつかない方が多いようです。日本では、被害の最も大きなイエシロアリをはじめとしてヤマトシロアリ、サツマシロアリ、カタンシロアリ、オオシロアリ、家具などの乾材につくダイコクシロアリなどの生息が確認されています。いずれのシロアリもその名のとおりに色が白いことから容易に普通のアリと区別がつかず。

北海道にはヤマトシロアリだけが道南地方に生息していますが、6月前後に生殖のために色の黒い有翅虫（羽アリ）を発生しますので、見分けにくいことがあります。そこで、腰がくびれてグラマーなのが普通のアリ、ズンドウなのがシロアリと覚えておくとう便利でしょう。このほかに、羽が4枚ともほぼ同じ大きさであることや、触角の形が数珠状であることがシロアリの特徴としてあげられます。また、生息の北限が砂川市とされていることも目安になると思います。

普通のアリは直接木材に被害を及ぼすことはありませんし、市販の殺虫剤で駆除できます。しかし、シロアリの場合は柱・土台などを食害し、ひどい場合は倒壊にまで至ります。その駆除の仕方についても、被害材の除去や土壌の薬剤処理などの専門的技術を伴いますので、日本しろあり対策協会加盟のペストコントロール業者などに駆除を依頼するのがよいでしょう。

（林産試験場 耐久性能科）